

## 東日本大震災に学ぶ。

11年前の3月11日午後2時46分、東日本大震災が起こりました。大きな揺れを観測するとともに、海岸線に壁となって押し寄せた津波により多くの人命が失われました。

大津波の被害に遭遇しながらも小中学生約3000人のほとんどが助かった岩手県釜石市。海岸からわずか100メートルのところにある小学校では最初校舎の3階に避難しましたが、隣の中学校の生徒が校庭に走り出ている姿を見て、小学生達は自主的に中学生の後を追ひ、避難場所に逃げ、全員無事だったそうです。その後津波は堤防を越え、小学校や中学校まで押し寄せました。このことは一般に「釜石の奇跡」と呼ばれていますが、これができた背景には「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先して避難せよ」という『避難三原則』があったからだそうです。

本校の今年度のグランドデザインにある4つの＜目指す生徒像＞の1つが「自ら学び、考え、行動する生徒」です。普段みなさんは、授業を始め、学校生活で様々なことを学んでいます。もちろん学校外でもね。その知識に基づいて「考えること」そして「行動すること」ができるようになってほしいと思っています。上記の『避難三原則』、これは生きる上でものすごく大切な教えだと思います。「想定にとらわれるな」。特に自然が相手の場合、想定外のことが起こりうるのです。「当たり前」や「いつも通り」にとらわれず、その時しっかり状況を判断して、思い切った決断せよってことですね。「最善を尽くせ」。「もうダメだ」とあきらめず、最後の最後までできることをやり切れってことですね。「率先して避難せよ」。まず自分がその姿を見せろ。迷うな。ってことでしょか。

みなさんにはよりよい社会の担い手になってほしいです。東日本大震災の時、避難所等で中高生が果たした役割はとても大きかったと聞いています。みなさんは地域においては自然災害等有事の際には地域の大きな戦力になってほしいと思っています。テストや入試のためだけに学んでるんじゃないやしません。「生きる力」を身につけるために日々努力をお願いします。



## 2人の3年生が表彰を受けました。



3年生生徒が令和3年度中学生の「税についての作文」コンテストで公共社団法人葛城納税協会会長賞を受賞されました。作文のタイトルは『税金が創る社会』です。ザックリ書くと、最初「税金は払わなければならない嫌なもの」と思っていたが、その間違いに気づき、実は自分の身の回りのいろんなことに使われていることがわかりそれに感謝するとともに、今後の使い方を提案する内容です。図書

室に彼女の作文も収録された作品集という1冊を置いてもらいますので、読んでみてください。

そして3年生生徒が令和3年度香芝市教育委員会表彰を受けられました。9月27日発行のNO.28でも紹介しましたが、8月にロシアで行われたクライミング世界ジュニア選手権のリード競技で銅メダルを獲得されたことが評価されての受賞です。今後の活躍に大いに期待したいですね。

受賞された2人、本当におめでとうございます。



## 明日3月12日(土)より部活動を再開します。

学年末テスト明けの3月2日(水)より、部活動を一部再開していましたが、明日3月12日(土)より可能な限りの感染防止対策を行いながらすべての部活動が再開できることになりました。各部で連絡があると思いますが、平日1時間、休日2時間(公式大会や発表会1週間前の活動は平日2時間、休日3時間)です。原則マスク着用で外す場合は2m以上の距離を確保します。あくまでも競技力向上や技術向上が目的ではなく、体力維持や精神面の安定をはかるための活動になります。また3月2日発行のNO.50にも書きましたが、参加を強制されるものではありません。

まだまだ制限は多いですが、一定活動ができることは喜ばしいですね。家で自主練習を繰り返している人は大丈夫だと思いますが、1ヶ月以上のブランクがあるので、無理のないように活動してくださいね。卒業式後から3月末までは3年生の参加も可能ですが、人数的なこともあるので、事前に顧問の先生に確認をとって下さい。